

議会改革推進委員会 会議録

開催日	令和4年4月13日(火)
会議時間	午前10時00分 ~ 午前10時48分
開催場所	全員協議会室
出席委員等	[委員長] 岡村 芳樹 [副委員長] 中村 孝治 [委員] 木崎 俊行, 山本 英司, 敷根 文裕, 五十嵐 智美, 藤崎 良次, 久野 妙子 [オブザーバー] 議長 平野 裕子
欠席委員等	石井 秀明
委員外委員	齋藤 寛之
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[局長] 三須 裕文 [次長] 宮崎 由美子 [書記] 飯野 明
協議事項	タブレット端末の活用・議会のペーパーレス化について

【決定事項】

- (1) 「タブレット端末を活用した佐倉市議会ICT化方針(案)」について
この案を、佐倉市議会ICT化方針として、議長に対し中間答申として回答する。
- (2) 次回開催日と協議内容について
次回の委員会開催日は5月27日(金)とし、導入するタブレットの通信方式について協議
いただきたい。それにより、ランニングコストの積算ができるので、来年度の実施計画への
予算計上に向けた準備を進めていきたい。

【主な意見】

- (1) 「タブレット端末を活用した佐倉市議会ICT化方針(案)」について
 - 導入目的に、「より市民に開かれた議会運営を目指すものとする」といった文言を追記しておく必要があるのではないか。
 - 市民に開かれた議会も市民への情報公開の一つとして必要な項目だと思っている。「市民に開かれた議会としてタブレットを活用する」といった文言を入れる必要があるのでは。税金を使って整備していくということなので、将来的にそこまでタブレットを活用していく必要がある。
 - 市民に開かれた議会は、常日頃からそれに向けてやっているのだから、タブレットの導入目的に改めて加える必要はないと思う。
 - コロナ禍において傍聴がしづらい状況下で、私たちは開かれた議会に向けてより積極的にやっていくのだという姿勢を示す必要があるのでは。
 - 市民への情報公開においては、委員会をリアルタイムで配信していないので、一つの手段として「市民への更なる情報公開」を入れてもいいのではないか。
 - 「市民の方へのアプローチ」を今後どのようにしていくかについて、どのような文言にするかは別として前文に入れるということが必要ではないか。

⇒ 運用していく中で、そういったことを踏まえてやっているんだということを示せばいい。導入目的そのものについては、簡潔でいいのではないか。

□文言の追記については、採決により追記しないことに決定した。

(2) その他の意見

■ 傍聴者はタブレットを持っていないが、紙で対応するのか。議員も、慣れるまでに時間を要すると思うので、タブレットと紙が共存する期間も様子を見ながら決めていくという形でいいのか。

⇒ 傍聴対応については、今後協議いただく内容だが、例えば、執行部で所有している貸し出し用のタブレット端末に資料を入れるなど、傍聴者に対してもペーパーレスの対応は可能ではないかと考えている。ただし、本会議の傍聴は人数も多いので紙ベースになるのではないか。紙とタブレットの共存については、完全に併用ということになると予算の削減効果が見込めない。その辺を踏まえて協議いただきたい。

⇒ 削減効果について、他市を視察した際、最初導入にかなり抵抗があったが、操作研修等を丁寧に行った結果、全員が上手く使いこなせるようになったとのことだった。ペーパーレスにおいては中途半端にやらないで、思い切ってやった方がいい。

■ 政務活動費の活用についても、併せて協議していく必要があるのか。スケジュール的にどうなのか。

⇒併せて検討いただきたい。

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 岡村 芳樹